



# きぬた

NPO 法人埼玉県キャンプ協会, 〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 3551 浦和大学 中島研究室  
http://saitama-camping.jp/ E-mail saitama@camping.or.jp TEL 080-8729-0349(事務局専用)

## きぬた143号

### 1 OPINION

特集 With コロナ時代のキャン  
プ

(2020 年秋)

「長瀬第一小学校五年生の  
詩」

### 2 事業報告

講師派遣

・アウトドア入門講座

・キャンプインストラクター

養成講座

研修会

・都道府県キャンプ協会

指導者研修会

・アウトドア・テクニク

理事研修会

## OPINION

今回の OPINION も、With コロナの時代のキャンプを考えるための資料のひとつとして、NPO 法人埼玉県キャンプ協会の会員たちがこの秋をどう過ごしたのか、寄稿をもとに事例を紹介します。



### 「特集 With コロナ時代の キャンプ(2020 年秋)」をお 届けするにあたって

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、感染されている方々には、心からお見舞い申し上げます。そして、医療従事者・行政関係者をはじめとして、社会を支える多くの方々に心より感謝と敬意を表します。

## 特集 With コロナ時代のキャンプ (2020 年秋)

### 長瀬第一小学校五年生の詩

NPO 法人埼玉県キャンプ協会副会長 堀口芳嗣

コロナウイルス

思いもしない 緊急事態  
突然の休校 長い長い休校期間  
外出自しゅくで ずっと家の中  
とても悲しく とてもたいくつ  
友達に会えなくてさみしい  
自宅学習で授業もできない  
学習が遅れた  
クラス全員に会いたくて  
つらいと思った時もあった

六月

三ヶ月ぶりの登校 待ちかねた学校  
やっと友達に会えた  
みんなみんな元気でうれしかった  
まさかの音楽室スタート  
感染症対策で やっとできた授業も  
うれしいけど 悲しいマスクでの授業  
黒板が見にくく 書きにくい  
検温、消毒、コロナ対策  
三密さけても、コロナへの不安  
嬉しいけど悲しい  
複雑な五年生のスタート

コロナで色々な行事ができなくなり

楽しみがうばわれた  
歌いたかった音楽会  
泊まりたかった宿泊学習  
書きたかった硬筆  
どれも中止で悲しくなった  
半日だけの運動会  
もっとやりたかった運動会  
だけど  
練習の成果が出たバトンパス  
初めての係活動  
団結してできて 嬉しかった  
開催できたことに感謝しなくちゃ

九月

教室に戻るもパーテーション  
黒板が見ずらく 授業に集中できない  
せまく感じる机の上 すごく不便

せまい部屋での感染対策  
みんなのための感染対策  
やっぱり感謝をしなくちゃ  
コロナの不安も少しやわらいだ

いつ終わるのか コロナウイルス  
今までみんなで全てを乗り越えてきた  
これからだって乗り越えられる  
みんなでコロナ対策  
コロナへの悲しみや不安があっても  
くじけず プラス思考で考えて、  
みんなで協力して  
前向きに進んでいこう  
できる範囲で 目一杯楽しもう  
そのたびに 絆が深まる  
団結力も高まる

希望の火を絶やさずに  
楽しく明るい学校生活を  
そして これからも、  
マスクの下で笑顔を絶やさず  
先生と友達と一緒に  
今年ならではの たくさんの  
素晴らしい思い出を作っていこう!

この詩は、長瀬第一小学校5年生が、コロナ禍の中で過ごした半年間の思い出を担任の先生と一緒に全員で創り上げたものです。

長瀬第一小学校でも、五年生の宿泊学習が、中止になる危機が訪れました。その中で、校長先生の「何とかキャンプファイアーを体験させたい」という熱い思いが、キャンプ協会会員のもとに届きました。会員は、新しい生活様式を考えたアドバイスをを行い、デイキャンプという形で今までとは違った宿泊学習を展開しました。

キャンプ協会会員の皆さん！今こそ、明るい未来を信じ、楽しく安全なキャンプを子どもたちやキャンプ愛好家に届けていきましょう。

## 講師派遣

### 「アウトドア入門講座」

さいたま市栄和公民館

11月8日(日)、11月15日(日)

さいたま市栄和公民館の主催事業「さいたま市親の学習事業」に講師派遣を行いました。「アウトドア入門」をテーマに、キャンプに関する知識や技術を提供しつつ、親同士の交流を図っていく内容でした。

新型コロナウイルスの感染状況が影響して、参加者は二組の家族のみでしたが、人数が少ないことを活かしながら講座を実施することができました。

テント設営、ロープワーク、キャンプクラフトなど、体験を中心とした内容を行いました。五人用と一人用のテントを二組の親子が協力して設営し、特徴の違いなどを解説しました。

新型コロナウイルスの影響で、人と人が交流する機会を作ることが難しい環境となっています。今回は感染防止対策を万全に施しながら実施しました。参加していただいた家族の笑顔がたくさん見ることができ、改めて交流することの大切さを実感することができました。



### 「キャンプインストラクター養成講習会」

埼玉県立神川げんきプラザ

11月21日(土)～11月23日(月)

埼玉県立神川げんきプラザとおいし野外活動センター主催のキャンプインストラクター養成講座に講師派遣を行いました。新型コロナウイルス感染防止のために対面講習が難しい状況の中、七名の参加者を集め万全の感染予防対策をとって二泊三日の対面式講習会を行いました。参加者は、講習を通してキャンプ指導の理論と実技を熱心に学び、全員がキャンプインストラクターの試験に合格して、キャンプ協会の新しい仲間になりました。



## 研修会

### 「都道府県キャンプ協会指導者研修会」

10月23日(土)～10月24日(日)

今年の研修会は、全国から70名のキャンプ指導者が参加して初めてオンラインで開催されました。「コロナ禍におけるキャンプ事業の可能性」をテーマに、多くの学びのある研修会でした。第一部の事例報告に続き、第二部ではCAMPING AWARD 2020の贈呈式が行われ、全国から九名の個人と一団体が表彰されました。NPO法人埼玉県キャンプ協会からは、専務理事の瀧深徹氏が表彰されました。

二日目にはコロナ禍における協会運営について課題提起があり、熱心な議論が行われました。



### 「アウトドア・テクニク 理事研修会」

～発火方法とアウトドア・クッキング～

11月28日(土)～11月29日(日)

NPO法人埼玉県キャンプ協会理事対象のアウトドア・テクニク研修会を行いました。参加者は理事五名とカメラマン一名の六名でした。研修会は、キャンプスペシャリストが持っているテクニクを共有し、学習の機会を作ることが目的ですが、さらに研修の様子を映像に収め、ネット配信を行うことでキャンプを通じた豊かなライフスタイルの普及発展を目指すことも視野に入れた試みです。

当日はキャンププログラムとして利用できる発火方法としてファイアールールとファイアーピストンによる研修を行いました。また、アウトドアクッキング・テクニクのの一つとしてスティックパンを作りました。スティックパンはイーストであらかじめ発酵させた生地を準備し、焚き火で焼き上げます。火加減が大切ですが、この条件さえ満たせば楽しいキャンプ料理として利用できそうです。

この際に撮影した動画は、編集作業を経て協会ホームページとYouTubeを通して配信したいと考えています。このような動画を蓄積することで、NPO 法人埼玉県キャンプ協会の仲間を増やすきっかけにできると良いと思います。



スティックパンを焼く様子

(焼き具合と香りを確かめるために、一時的にマスクをはずしています。)

### NPO法人埼玉県キャンプ協会

<http://saitama-camping.jp/>

E-mail [saitama@camping.or.jp](mailto:saitama@camping.or.jp)

〒336-0974

埼玉県さいたま市緑区大崎 3551

浦和大学 中島研究室

TEL 080-8729-0349

